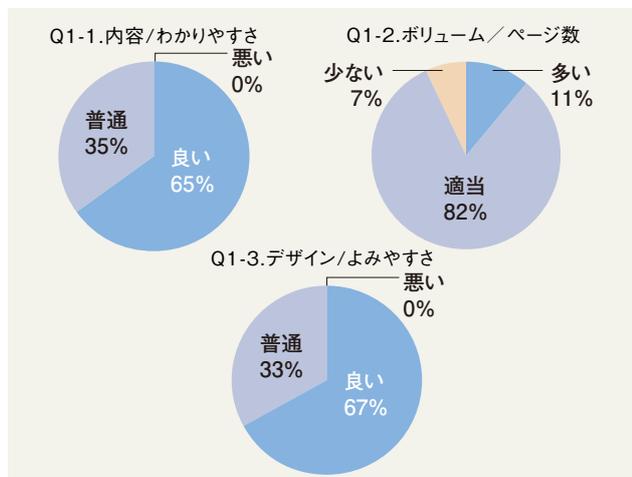


京都大学環境報告書2007アンケート結果

京都大学環境報告書2007ダイジェスト版アンケートへのご協力ありがとうございました。このアンケートに、大学内外の約170名の方より回答をいただきました。

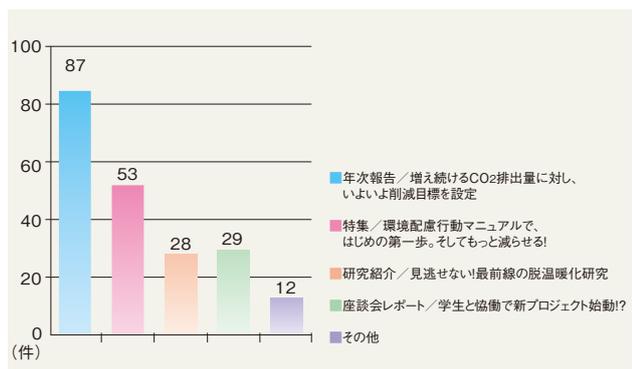
お寄せいただいたこれらの声は今年度の報告書にできるだけ反映するようにいたしました。

Q1.この報告書をお読みになって、どのように感じになりましたか。



→今年度もダイジェスト版は昨年度同様のページ数とし、わかりやすい内容で読みやすいデザインを心がけました。

Q2.特に印象に残っている記事はどれですか。(複数回答可)

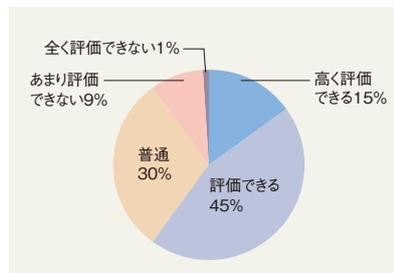


Q3.今後、さらに改善・充実した方がよいと思われるページや内容がありましたら教えてください。

→最も多くの反響をいただいたのがCO2排出に関する記事でした。CO2削減のより詳しい方法や実際の研究室での取り組み事例を紹介してほしいといった意見のほか、大学の組織としての対応がよく見えないという声などをいただきました。

今年度の報告書では環境賦課金制度の導入、レジ袋の削減の取り組み、パソコン省エネ設定運動など、大学としての具体的な取り組みについて紹介しています。

Q4.本学の環境保全活動に対して、どのように感じになりましたか。



Q5.その他ご意見や改善のご提案がございましたらお聞かせください。

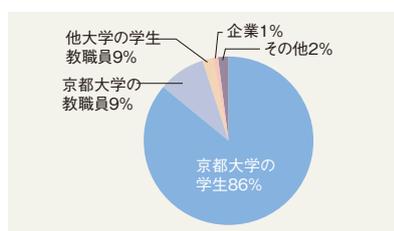
回答例

- いちにいちエコなど、具体策が挙げられていて参考になった。
- この報告書をもっと多くの学生に見てもらう工夫が必要。
- 目標数値を決め、宣言されているところが良いと思う。
- 今後の取り組みに興味がある。
- 報告書は立派な紙でもったいない。HPだけでもよいのでは。

→本学の環境保全活動は、おおむね評価していただきました。一方で研究紹介の充実やダイジェスト版を紙で配布していることに対する疑問の声などが寄せられています。

ダイジェスト版は、大学とステークホルダーの方々との重要なコミュニケーションツールとして位置付けており、直接読んでいただくには、紙で配布することも有効な伝達手段と考えています。お手元に置いていただき、ぜひ環境配慮行動に役立ててください。一方でダイジェスト版配布の必要性については、環境報告書ワーキンググループを中心に毎年見直しを行っていきます。

Q6.どのような立場でいらっしゃいますか。



→アンケート回答者は95%が京都大学の学生・教職員でした。お寄せいただいた多数のご意見を参考に今年度の環境報告書を作成しました。今後も、ステークホルダーの方々からいただく意見を取り入れ、さらに改善を重ねていきたいと思ひます。

本項目のほか、ステークホルダー委員会や環境保全活動の総括なども実施しています。詳しくは46～49ページをご覧ください。